

第32回 全九州中学生バスケットボール春季選手権大会 沖縄大会

ボックス・スコア

女子 1回戦

試合日: 平成24年3月17日(土)
 開始時刻: 9:30
 会場: 西原町民体育館
 コート: Cコート
 試合順: 第1試合

Team A		Team B
京 陵	43	南 小 倉
(熊本1)	$\left\{ \begin{array}{l} 18 - 22 \\ 7 - 21 \\ 9 - 15 \\ 9 - 8 \end{array} \right\} 66$	(福岡2)

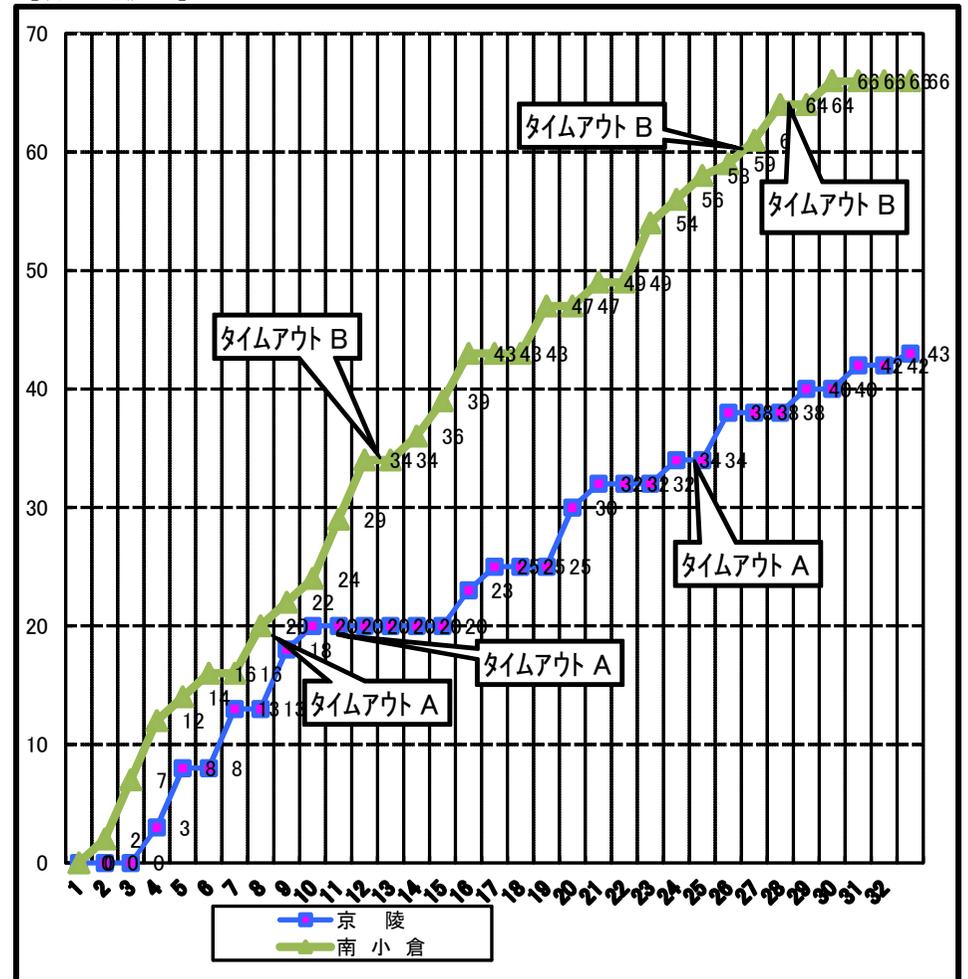
Team A : 京 陵(熊本1)

No.	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	備考	
				M	A	M	A	M	A		学年	身長
4	×	川 端 美紗稀	10	2	5	2	9	1	3	1	2	164
5	⊗	柚留木 彩 心	11			5	10	1	3	3	2	167
6	⊗	中 島 采 加	2	0	1	1	7	1	4	1	2	160
7	⊗	豊 浦 夏 実	7			3	7	1	4	3	2	173
8	⊗	関 口 祐 香	0			0	2			2	2	159
9	×	米ヶ田 理華子	12	1	3	4	10	1	4	5	1	161
10	⊗	山 田 彩 生	1	0	1	0	1	1	2	1	1	163
11		原 菜々子	—								1	158
12		池 田 希	—								1	165
13	×	辻 祥 唯	0								1	153
14		牛 島 未 稀	—								1	143
15		中 島 侑 未	—								1	158
16												
17												
18												
Team/Coach: 森 口 裕 之			—	—	—	—	—	—	—	—		
合 計			43	3	10	15	46	4	13	16		
RATE				30.0%	32.6%	30.8%						

Team B : 南 小 倉(福岡2)

No.	S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	備考	
				M	A	M	A	M	A		学年	身長
4			—									
5		井ノ上 瑠莉	—								1	155
6	⊗	廣門 綾香	0	0	5					1	2	160
7												
8												
9	⊗	笠井 桜可	2			1	1			2	2	170
10	×	岩田 桃佳	0								1	150
11	⊗	萩原 春乃	40	0	2	17	26	6	7	3	2	160
12	⊗	青木 知佳	10	2	14	2	5			2	2	160
13	⊗	内尾 聡菜	16			6	12	4	7	3	2	173
14												
15												
16												
17												
18												
Team/Coach: 木村 透			—	—	—	—	—	—	—	—		
合 計			68	2	21	26	44	10	14	11		
RATE				9.5%	59.1%	71.4%						

【得点推移表】



【戦 評】

1Q出だし、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。南小倉#11萩原のシュートでゲームが動き出す。一方的な流れになりかけるも、京陵#4川端の連続3P、#5柚留木のシュートなどで、食い下がる。その後、互いに点数を取り合い、22-18南小倉リードで終了。第2Qに入っても南小倉#11萩原の勢いがとまらない。対する京陵#5柚留木のシュートで応戦するが、要所でミスが始まる。たまた京陵が1回目のタイムアウトをとる。同時に京陵#9米々田、#10山田を投入するも、流れを引き寄せることができない。その後も徐々に引き離れた南小倉が、45-25で前半を折り返した。3Qに入り、互いに出だしから得点源である南小倉#11萩原、#13内尾、対する京陵#5柚留木、#4川端らの得点で互角の展開となる。しかし、南小倉はシュートのミスが目立ち始める。そこにつけ入りたい京陵だが、南小倉の堅い守りに阻まれ、思うように得点につながらない。残り3分、当たりが止まっていた南小倉#11萩原が、息を吹き返し得点を重ね始める。南小倉は、更にディフェンスを固め突き放しにかかり、58-34で終了。4Qに入り、流れを変えたい京陵は、#5柚留木の連続シュートで反撃の口火を切る。その後も#4川端、#5柚留木にボールを集め、流れを引き寄せたいが、ミスが続き得点に結びつかない。残り4分を切り、66-40となったところでは、南小倉#11萩原の独壇場となり、ジャンプシュート、ドライブインと、面白いように得点を重ねていく。京陵も最後の意地を見せ得点するも、南小倉の#11萩原を中心としたオフェンスに加え、鉄壁なディフェンスの前に66-43で惜しくも力尽きた。

主審	國吉由華	副審	仲松みのり	記録	新城大助 高良謙二
----	------	----	-------	----	--------------